

Message

第 19 号

2016. 7. 22

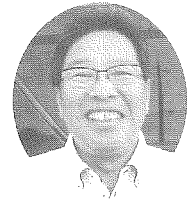
＝メッセージ＝

島根県立島根中央高等学校
島根中央高等学校PTA広報委員会

輝け島根中央高校！

島根中央高等学校PTA会長

福井義信



島根中央
高校の創立
十年目を迎
える今年度、
初めて定員

を超える受験者がありました。今や県外生の数は県下で一番多い学校となっています。全国の仲間と集い、学ぶことのできる学校として、島根中央高校は全国の学校になつてきたといえます。都会に比べると随分不便な川本での生活かもしれませんが、逆に不便さの中に学べることも多いのではないのでしょうか。雄大な江の川、中国山地の豊かな自然に囲まれた落ち着いた環境の中で、夢の実現に向け頑張つて欲しいものです。

さて、川本町には県外生支援のためのまち親制度があります。先日、近所のまち親さんが、「蛍を見たことがない県外生を、蛍のいるキャンプ場に連れて行き、子どもがとて喜んでくれた。」という微笑ましい話を嬉しそうに話してくださいました。地域の方と交わりコミュニケーションを図ることは、人とつながる喜びを感じることでできる、素晴らしい出会いの場でもあります。子ども達を地域が支え、逆に支えられている子ども達に地域が元気をもらっていると思います。

過疎の町川本で、島根中央高校がさらに輝いていくためには、学校と地域がどのようにつながっていくかが鍵であるといえます。よき支援者を増やしていく。まち親さんやいつも球場で応援してくれるおじさん、職場体験の事業所の方々、島根中央高校が頑張っている「まちな・chuu」の活動でふれあう地元の方皆さんを応援団にしていくことが、元気な地域、活力ある島根中央高校にしていくことにつながると思います。

さらに、学校と地域だけでなく、保護者や行政の力をも、つないでいくことが大切ではないでしょうか。そのつなぐ役割をPTAが担つていけたらと思います。子ども達が夢を実現させ、喜びを得ていくために、親として島根中央高校をしっかり支援していきましよう。

さあ、一学期になると、PTA活動も保護者の皆さんとの力を必要とする行事が続きます。恒例のPTAバザーでは、焼きそばやうどんを作つて学園祭を、十月には餅つきで球技大会を盛り上げます。昨年は東京からも参加していただいたこのイベント。多くの保護者の皆様の参加をお待ちしています。

かいかぶらない、見くびらない

島根中央高等学校教師

立石祥美



この三月
に未っ子が
他県に進学
し、私の子育
ても終了と
なりました。

七年前、長女の入学と一緒に本校に着任し、長男、次女と、全員が島根中央高校でお世話になりました。「仕事に家庭を持ち込まない」をモットーに仕事をしてきました。まさかこんな形で家庭を持ち込むことになると思いませんでした。

三人の子どもたちが家を出て、もともと夫婦別居生活の我が家は、住まいが五人バラバラになりました。いろんな方たちに「寂しいでしょう」と言っていたのですが、これが「いやそれほどでも？」というのが実感です。

昔の自分の一人暮らしがそれなりに充実していた記憶があるせいか、つらいことや思うにまかせないこともひつくるめて、彼らなりにどうにか暮らしているだろうと思つていま

今はLINEなどもあり、離れていても家の居間にいるように会話ができる時代なんだな、ということも実感しています。

さて、本校は現在、一都二府九県から九十七校の中学校を

卒業した生徒が在籍しています。わずかに十五歳の子とも離れて暮らすのは、高校卒業時とは違い、保護者としては応援する気持ち以上に心配が勝るのではないかと思います。

これだけの他人の中で学校生活や寮生活を送るので、すから、つらいことや困ること、不自由なことなど、数々あるでしょう。それを思うと、本人以上に保護者が耐えなければならぬことも多いように思っています。

我が子たちの高校生活も、勉強のつまずきや部活動のトラブル、友だちとのいさかいなど、それはもう、諸々ありました。私は話を聞きながら「いい勉強をしているな。がんばれが、子どもたちはそれぞれに乗り越えていったようです。

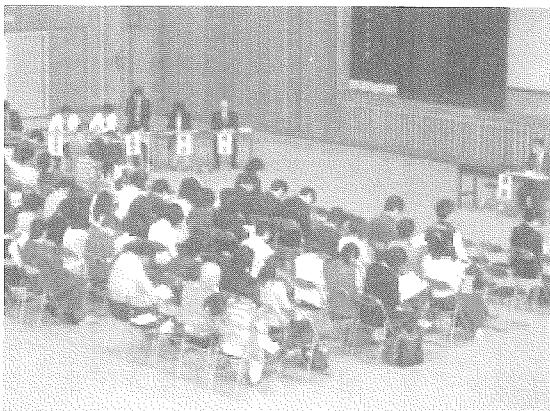
「子どもをかいかぶるな、でも見くびるな。」初任時に先輩教員に言われて、今でも時々思い返す言葉です。島根中央高校は、今の子どもたちに必要な皆さんの学びができる学校だと思えます。元保護者として子ども達たちの力を信じて、育て、応援していきたいと思



PTA総会開催

平成二十八年 五月十四日(土)

五月十四日(土)平成二十八年度PTA総会を開催しました。学校状況説明、平成二十七年事業報告、決算報告、監査報告、平成二十八年度事業計画(案)、予算(案)が審議され、原案どお



り承認されました。役員改選では、新役員の皆様が今年度のPTA活動に向けての抱負を語ってくださいました。また、新会長からは学園祭のバザー等のPTA事業への積極的な参加と、4月に起きた熊本地震災援金活動への協力のお願がありました。

第一回PTA評議員会開催

平成二十八年 四月二十七日(水)

四月二十七日(水)にPTA総会に先立ち、PTA評議員会を開催しました。総会に提案する議題について話し合いました。また、委員会別に集まり、各委員会の今年度の活動について協議しました。

委員会構成メンバー

委員長 森谷公洋
副委員長 瀬上克司 菅原真吾
担当副会長 左田野 晃
担当監事 杉本政輝
委員 木村孝司 宮前ゆか 岩崎勝幸 馬場哲哉 本田晴之 奥野晴之

委員長 葛田さつき
副委員長 佐々岡宏明 泉 竜也
担当副会長 大屋悦子
担当監事 竹内信一 松下昭二 高木己希雄 松村貴男 森口弘美

委員長 大屋裕二 中嶋美砂
副委員長 大谷美希
担当副会長 佐藤龍美
担当監事 中西一郎
委員 三宅康二 松岡知華子 三上良紀 山下英昭 加田次恵 福島昌幸

学校担当者 坂根博行

芸術鑑賞

七月八日(金)

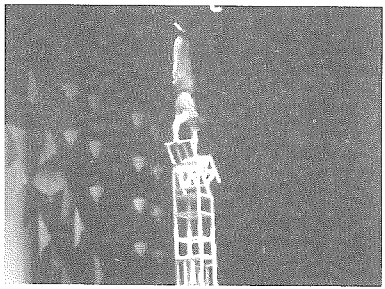
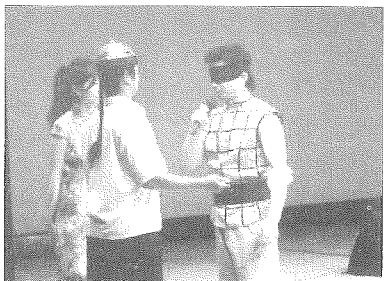
悠邑ふるさと会館大ホールにて芸術鑑賞会を実施しました。三年に一度実施するこの行事、今回は日々の努力、集中力、バランス感覚の大切さをメッセージする「中国文化芸術夢公演」を全校生徒が鑑賞しました。

オープニングでは、中国北方の豪快な獅子が登場しました。中国獅子舞はステージのみならず、客席に降りて場内を練り歩き、演舞の最後に「二ハオ！島根中央高校のみなさん」と大書した横断幕を掲げました。

日本でも人気のある中国の民族楽器・二胡の演奏では、哀愁の音色で演奏される井上陽水さんの「少年時代」を聴き入りました。

ザ・芸(鞭技)やフラフープの演目では、生徒の体験コーナーがあり、ステージでの共演ではユーモアあり、驚きの豪技ありと会場は大いに盛り上がりました。

秘技・ダブル変面では、一瞬のうちに顔が変わる変面演技に生徒たちはビックリ！ステージ



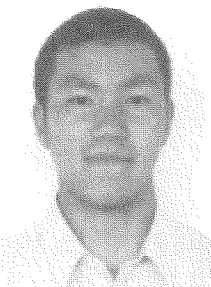
また、勉強面でも二年生になって息子が選択したコースでは、地域の事業所で職場体験をさせてもらっています。高校の授業の一環でこのような経験をさせてもらえることはないの

で、今後の進路を決める時に役立ててもらえればと思います。そして、一番感謝していることは、まち親さんです。入学当初から何度か病院へ連れて行ってくださったたり、時々声をかけて

いただいたりと本当に親身になって話していたらいいと思います。息子にとってもまち親さんが大きな存在になっていてと思います。地元川本の保護者の方

もみなさんも良い方ばかりで、お世話になっていきます。島根中央高校も川本町も本当によい所なので、息子を入学させて良かったと思います。また、息子にとって川本町が第二の故郷になればいいと思っています。

山口哲矢くんに聞きました



Q島根中央高校を選んだ理由は？
A 中学校の時の野球のチームの先輩が多く進学していたからです。

Qこの一年間学校生活、寮生活(成長した)と思うことは何ですか？
A 人に頼ることがなくなり、何事も自分で判断して行動できるようにになりました。

Q家族に向けて一言どうぞ！
A 自分がいなくなつて寂しいと思うけど、夫婦仲良く頑張ってください。



のみならず、客席を歩き回り生徒の間近で変面、大喝采でした。雑技アラカルトでは、上映される幼い頃からの訓練を重ねる子どもたちの姿に生徒たちは共感し、バランス感覚、集中力、精神力の大切さを実感しました。そしてステージはクライマックス、チャンピオン技のハイパージャグリングでは、雑技ならではのスピーディーなテクニクに会場は拍手が響きました。続いての椅子のバランスでは、上へ上へと積み重ねた椅子の上での演技に生徒たちはハラハラ、ドキドキ、究極のバランス芸を堪能しました。

《生徒の感想》

二年生女子
私は初めて鑑賞しました。どのようなことが演じられるかと思っていました。演技を披露してくださいました方は、これまで厳しい練習をし、毎日の努力を積み重ねてきたんだと感じました。椅子のバランスはドキドキハラハラして、見ているのがとても怖かったです。また機会があれば、見に行きたいと思

島根中央高校への思い

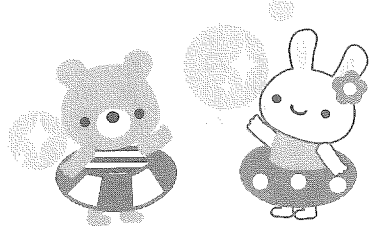
昨年度、県外から入学した生徒と保護者の方に寄稿していただいた企画が好評ということで、今回はその続編として4名の生徒とその保護者の方に寄稿していただきました。

「島根中央高校への思い」

二年三組 山口哲矢くん 母 (兵庫県 高丘中出身)

息子が島根中央高校を選んだのは、中学の時所属していたクラブチームの指導者の方や、先輩方の話を聞いて、公立高校で野球環境が整っていることや、監督さんが甲子園出場経験のある方なので、甲子園出場を目指すことができるということを決めました。

好きな野球はできるけれど、親元を離れて寮生活になるので、入学して慣れるまでは不安や、大変なことも多かったと思います。一年以上経つた今では、生活のリズムもつかめて、寮生活を満喫しているなと思うような話を聞けることも時々あります。



「今思う」

二年二組 牧野葵乃さん 母
(静岡県 清水第二中出身)

娘は、山口市生まれで、小学六年から中学三年生まで静岡市清水区で過ごしました。父親の転勤でしたが、いずれは山口市に戻ると言っていました。中学三年生になり、高校はどうしようか、静岡か山口かなど、悩んでいる頃、テレビで島根留学のことを知り

ました。全国各地から入学してくる学校を楽しそうだなと思っただのは、私(母)でした。東京での島根留学説明会に行き、八校の学校説明を聞ききました。それぞれ、特徴がありました。娘が興味を持ったのは、島根中央高校でした。中学で吹奏楽部だったから、吹奏楽の盛んな町の学校を見学したくなったようでした。その後、オーブンスクールに行き、学校、寮の様子を見ました。吹奏楽部も体験させてもらい、娘は受験することを決めました。

島根県には、全く縁もゆかりもなく、実際に志望校を島根中央高校に選んでから、川本町まちづくり推進課の方には、ま

親さんのこと等、何度も連絡していたら、大変お世話になりました。

入学してから勉強のことを心配していましたが、少人数クラスの授業の為、きめ細かく指導して頂けることが良いところだと思えます。また、勉強嫌いの娘が、自ら勉強したい科目があると言いだしたのも初めてのことで、とてもうれしく思っています。

「高校生活は、三年間ですぐに終わってしまう」と娘にはよく話しています。積極的に行動して楽しい思い出を作りたいです。その為には、学校の教職員の皆様には、ご迷惑をかける川本町の皆様にお世話になると思っています。今後とも、よろしくお願ひします。

「牧野葵乃さんに聞きました」



Q島根中央高校を選んだ理由は？
テレビで島根県の高校が県外生を募集していることを知り、東京であった説明会に行き、中

央高校の吹奏楽部のことを知ったからです。

Qこの一年間(学校生活・寮生活)を振り返ってみてどうですか？
慣れない生活に最初は戸惑いましたが、クラスの友達や部活動の先輩方とても楽しい一年間を過ごせました。地元中学校だった絶対体験できないことばかりの一年間でした。

Qこの一年間で自分自身変わった(成長した)と思うことはなにですか？
家では親にやってもらっていた事を自分でできるようになりました。

Q家族に向けて一言どうぞ！
こんな素敵な家族に出会えた私は本当に幸せ者です。いつもありがとうございます！
帰省したらみんなでUNOしよう！



「今でしょ!と語った息子」

二年一組 榎本一仁くん 母
(東京都 八幡中出身)

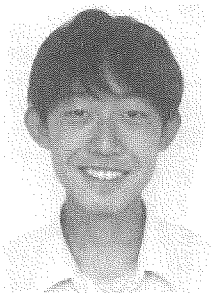
東京の中学で二年生に入ったころ、塾で目にした島根中央高校県外生募集の案内を見て、息子から興味があるとの一言。彼には故郷がなく、自然に囲まれた環境をあまり知らずに育った環境、塾長から「学校見学もそうだが、在学中の生活となる町の雰囲気もよく見てからじっくり考えた方がいい」と言われ、その夏から何度か足を運び、重々検討した上で入学させていた、

息子は中学生の間、ボランティア活動に力を入れており、高校生活でも川本町の地域の方々の交流を通じて何か出来ることがないかと、先生方、町役場の方、地元の方、生徒の方の協力を得てボランティア会を発足させました。頻りに電話がありますが、学校、部活、寮生活、勉強、生徒会、ボランティアと、それはもう目まぐるしく一日過ごしているようですが、張りのある声で充実度が伝わってまいりました。そしてある時いいました。

「中学生は親の管理下、大学生はもう大人としての扱い、高校生は大人も手を差し伸べてくれる中で、精神的にも体力的にも多少の無茶が出来るいい按配。だから精一杯何でも出来るんだよ。今でしょ!」と。このような言葉を聞くとは思わなかったのに、親元から離れて、こんなに成長してくれたことを心より感謝いたしております。

寮から学校まで自転車や歩くなどの生活面で体力もつきました。野球部などのスポーツゆえの礼儀正しさも学びました。町の人の温かさに触れ、心を通わすことの意味も知りました。遠くから見守るだけの親ですが、何事にもたくましくなっていく姿をとて頼もしく、島根県に送り出したことが本当にいい機会であったと切に感じております。

気づけば、あと半分の高校生活。将来で一番のターニングポイントとなりそうです。
(榎本一仁くん)に聞きました



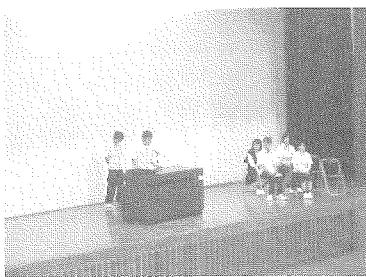
Q島根中央高校を選んだ理由は？
東京での塾内のポスターを見て、何度か川本に足を運ぶうちに町の人の温かさと、生徒さん達の輝いている目を見ました。私もここ(島根中央高校)で輝きたいと思ったからです。

Qこの一年間(学校生活・寮生活)を振り返ってみてどうですか？
親元から離れての生活の中で、地域の方、寮の仲間、学校の仲間など温かいよい環境に恵まれました。そして、今までできなかったことにもチャレンジするという気持ちで芽生えました。特に生徒会では、学校の行事と真剣に向き合って様々な企画を成功させる達成感を味わうことができました。とても充実した日々を送っています。とにかく毎日が楽しいです。

Qこの一年間で自分自身変わった(成長した)と思うことはなにですか？
自分は今までは、人前に出て、しゃべるタイプでありませんでした。しかし、周りの方たちの優しさを受け、島根中央高校で一杯過ごしていくうちに自身に自信が付き、人前にも出て自信を持って話せるようになりました。

Q家族に向けて一言どうぞ！
今まで色々迷惑をかけまし

たが、今こうして自分が毎日過ごすことが出来るのは、家族のおかげです！これからも色々頑張るので見ててください！



「PTAだよりに寄せて」

一年一組 蓮見康太くん 母
(東京都 府中九中出身)

「りよ」おけ(了解、オツケ)からの連絡に対する息子の返信です。こちらから問いかけない限り、息子からは何も言っていない。聞いても呆れるばかりの素気なさです。

入学してから三か月、男の子とはこういうものなのかと半ば諦め、一方では泣き言を言っていることを嬉しく思っています。例えば一年前の我家に突然浮上した島根留学の話は、私が何気なく見たテレビ番組から始

まりました。この頃の息子はまさか自分が島根県の高校に進学することになるとは、夢にも思っていなかったと思います。

その後東京での説明会、続いて夏休みの学校訪問を経て、この問題は一気に本格化することになります。
東京での説明会には私と私の母と二人で参加し、迷わず島根中央高校のブースへ、その話の中から先生方を含めた町ぐるみで子ども達を育てていく・・・という、都会では考えられない温かさや熱意を感じました。

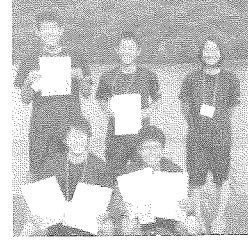
Q島根中央高校を選んだ理由は？
母親が東京である学校説明会に行っていた時に、気に入ってそのまま勧められて入学しました。
Q実際の学校生活を始めてどうですか？
学校生活では部活動も楽しんで、町の人も優しい人たちがばかりでとても楽しいです。
Q実際の寮生活はどうですか？
自分が思っていたのとはちょっと違ったけれど、部屋の先輩方もとても優しく、毎日楽しく過ごしています。

Q家族に向けて一言どうぞ！
島根で寮生活をして分かったのは、親がいかにありがた存在であるかです。なので家に帰った時は親孝行できるようにしたいと思えます。

部活動結果



- 中国大会
- 力ヌー部
- 第4回中国高等学校力ヌー部 リント選手権大会
- (山口県中山湖特設力ヌー競技場 六月十一日(土))
- 男子カヤックシングル500m
- 第4位 森脇 建也
- 女子カヤックシングル500m
- 第5位 菅原いおり
- 男子カヤックペア500m
- 第3位 森脇・伊藤組
- 男子カヤックフォア500m
- 第1位 島根中央高校
- (伊藤・森脇・洪田・中西)



■陸上競技部
第69回中国高等学校陸上競技対
抗選手権大会

岡山県陸上競技場
(シテイライトスタジアム)
六月十七日(金)～
十九日(日)

- ・男子やり投げ
大村 司 第3位
- 58 m 83 (インターハイ出場)
- ・女子やり投げ
服部 未来 第7位(入賞)
- 39 m 59 第13位
- ・男子八種競技
上田 理央 4001点 第15位

■県総体

■陸上競技部

- ・男子やり投げ
大村 司 第1位
- 55 m 22
- ・男子八種競技
上田 理央 4031点 第4位
- ・女子やり投げ
服部 未来 第2位
- 39 m 33
- ・女子やり投げ
正司いのり 第3位
- 34 m 33

■カヌー部

・男子カヤックシングル
500 m
第1位 森脇建也

第2位 中西諒磨
第3位 伊藤龍己

・男子カヤックシングル
200 m
第1位 森脇建也

第2位 中西諒磨
第3位 伊藤龍己

・男子カヤックペア
500 m
第1位 森脇・伊藤組

第2位 渋谷・中西組
第3位 蛸島・津山組

・男子カヤックフオア
500 m
第1位 島根中央高校

(伊藤・森脇・渋谷・中西)

第2位 女子カヤックシングル
500 m

第3位 菅原いおり

・女子カヤックシングル
200 m
第1位 菅原いおり

第2位 女子カヤックペア
500 m

第3位 菅原・中平組

・男子カヤックシングル高校1
年生
第1位 瀬上一樹

★男子カヤックシングル森脇建
也、男子カヤックペア 森脇・

伊藤組、男子カヤックフオア
(伊藤・森脇・渋谷・中西)が
8月に山口県岩国市で行われる
全国高校総体(インターハイ)
に出場します。

■女子バレー部

・1回戦
島根中央 0対2 江津高校

■女子バスケットボール部

・1回戦
島根中央 19対109 松江北

■ソフトテニス部

・男子個人
1回戦
榎本・松村 1対4 出雲北陵

浅原・澤津 4対1 隠岐島前
2回戦
藤田・間所 4対2 安来

浅原・澤津 0対4 松江西
3回戦
藤田・間所 0対4 出雲工業

・男子団体
1回戦
島根中央 3対0 三万屋

2回戦
島根中央 0対2 出雲

・女子個人
和田・吉田 2対4 松江東

榎・堀 0対4 平田

佐々木・河田 2対4 安来

甚田・山本 2対4 松江農林

・女子団体
1回戦
島根中央 0対3 三万屋

■剣道部

・団体戦
1回戦
島根中央 3対2 出雲工業

2回戦
島根中央 0対3 出雲

・個人戦
2回戦
長谷川 聖

1回戦
坂根康太郎 竹内飛燕

多々納春樹 増田信大

ご声援ありがとうございます

お知らせ

○PTA奉仕作業

八月二十日(土)

七時半～九時

内容 除草作業

○「美郷夏祭り」

七月二十三日(土)

「ええなあまつりかわもと」

七月三十日(土)

巡回パトロール

※生活指導委員会と学校教職員
で行います。

○学園祭バザー準備打合せ会

第一回(役員会)
八月四日(木) 十八時半～
第二回(役員・評議員会)
八月二十二日(月)
十八時半～

編集後記

今回、寄稿してくださったみなさん、本当にありがとうございます。それぞれの立場から、島根中央高校、そして我が子を想う温かい気持ちの十分に伝わり、読み終えると思わず笑顔になれました。この想いを Message (PTAだより)を通して、みなさんと共有することで、学校、生徒、地域を一層心温かく見ることができ、新たな良さを発見することができればと願っています。

広報委員会では、そのような願いをもちながら、二学期、三学期の発行をめざして活動していきたいと思っております。今後ともご理解、ご協力をお願いいたします。

全国的には、すでに猛暑が始まっています。熱中症対策を忘れず、笑顔で猛暑を乗り越えましょう。

